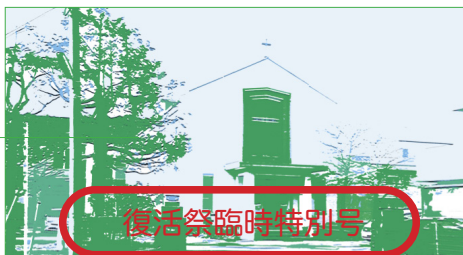




# 瀬田の丘

創刊 1973年

編集・発行／カトリック瀬田教会信徒会広報部  
東京都世田谷区瀬田 4-16-1



## この不安な時において

2020年4月

瀬田修道院司牧担当司祭団 小西広志神父

ふと、どこにコロナウイルスがいるかが一目でわかるそんなメガネがあったらいいのにと考えた。見えないウイルスが見えたら感染を避けることもできるだろう。ドラえものの助けを借りたら「ウイルス発見メガネ」を手に入れることができるかもしれない。

世界は COVID-19 (新型コロナウイルス) のおかげで苦しんでいる。わたしたちの社会も緊急事態宣言がなされ、一か月以上も行動が制限されている。教会もまた、この未知のウイルスに感染しないために、さらには感染源とならないために先月から閉じている。皆が集い、喜びのうちにミサをささげることができない。

不安である。どこにウイルスがいるかが分からないから。そして、誰からウイルスをうつされるかもかもしれないから。不安だから人々のところはささくれ立ってきた。ちょっとでも咳やくしゃみをしていたらにらまれる。マスクをしないで街を歩くと嫌がられる。「三密」(密閉、密室、密集) を避けよと呼びかけられたから、人と人の距離が広がった。そしたらところどころの距離も広がった。不安の中でお互い信頼しあえない社会となりつつある。

不安は人を閉じこめる。不安で信頼できないから、人はところを閉じていく。

外出を自粛じしゆくされているから、家の中に閉じこもっていくのだろうけど、その結果、人と人との関わり合かかあいは薄らいでいく。たまに買い物に出かけると、そのうっぷんをはらそうと、必要のないものまでも買ってしまう。店員につらくあたってしまう。

不安おそは恐れをもたらず。見えないものへの恐れだ。しかし、その目に見えないウイルスへの怖こわさをふりはらって、勇気ゆうきをもって立ち向かっていく医療従事者いりょうじゆうじしやたちがいらっしやる。本当におつかれさまと声をかけてさしあげたい。不安と恐れに対して、自分のいのちをささげることたいおうで対応した人々がおられることに驚おどろきを感じるとともに、ああ神さまほたらは働いておられるのだと思う。

「ウイルス発見メガネ」はきっと発明されないだろう。わたしたちは、不安と恐れの中にあっても何かを信じて、せっせと手洗いにはげみ、うがいをし、マスクをかけて、新型ウイルスに感染しないことを、そしてウイルスの感染源とならないことを願ねがい求もとめていくのだろう。手洗いもうが日もマスクも、いのちをていねいに生きるための祈こらいりの行為のような気がしてならない。「主よ、助たすけてください」(マタ8章25節)と主イエス・キリストに哀願あいがんしながら。

この不安な時だからこそ、「なぜ、そんなに恐れるのか。まだ信仰はないのか」(マコ4章38節)というイエスさまのことばを受けとめたい。これは信仰みじゆくが未熟なわたしたちへのお叱りしかりのことばではなく、「わたしに信しん頼らいして、頼たよって生きてごらんらん覧まねなさい」という招まねきのことばなのだ。



## 司祭団からのお願い

2020年4月12日

瀬田修道院司牧担当司祭団

主は世の終わりまで、いつも共にいてくださいます。(マタイ 28 章 20 節参照)

### 主のご復活おめでとうございます。

COVID-19 (新型コロナウイルス感染症) による感染拡大を避けるために四旬節中は教会が閉鎖されていまして、復活祭を迎えましたが、これからも教会が閉鎖され、しばらくの間はミサがありません。皆さんと一緒にミサをささげることができないのはとても残念です。

あの方はどうしているのだろう、あのご家族はどうしているのだろう、あの子どもたちはどうしているのだろうと教会に集う人々を思い起こしながら、わたしたち司祭団は修道院で祈りとミサをささげています。

「主は世の終わりまで、いつも共にいてくださいます」のみことばに支えられ、導かれてこの時を歩んでまいりましょう。

しばらくしたら、教会で皆さまと再会し、よろこびを分かち合うことをこころより願っています。

### 主イエス・キリストへの信頼のうちに過ごしましょう。

不安な時だからこそ、神さまへの信頼を失わないようにつとめたいものです。

次の点を大切にしてみたらいかがでしょうか？

### 典礼への霊的な参加

東京大司教区では主日のミサのネット配信をおこなっています。ご自宅に環境を整えば、ネット配信を通じて典礼に参加してください。また、聖体訪問のために聖堂を訪れるのも勧められます。しかし、感染拡大を避けるためにミサなしの

聖体拝領はできません。

## 生活の中の祈り

静かに黙想しながら過ごすだけが祈りではないでしょう。日々の生活での小さな出来事一つひとつが、わたしたちキリスト者にとって神に感謝と賛美をささげる祈りとなります。

感染予防のための動作:①手洗いをする、②うがいをする、③マスクをかけるは、いのちを大切にあつかおうとするわたしたちの祈りそのものです。どうぞ、感染予防の努力を今できる祈りとしていねいになさってください。

## 小さな祈り (射祷)

目に見えないウイルスにおびえる日々が続いています。不安がつのります。外出もままならないとストレスもたまります。こんな時だからこそ短い祈りで復活された主イエス・キリストに呼びかけましょう。

「主よ、あわれみたまえ」

「主よ、助けてください」

「主よ、共にいてください」

といった短いことばで結構です。

## 大きな祈り (多くの人々と共に)

司教団は「新型コロナウイルス感染症に苦しむ世界のための祈り」を発表しました。小さなカードにして皆さまにお届けします。一日に一度で結構ですから、この祈りをころから唱えてみましょう。声に出して祈るのもいいです。黙読しながらゆっくりとあじわうのもいいです。多くの人々とともに祈りをささげましょう。わたしたちの祈りが、誰かを支えるのだと信じて。

